

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
臨床栄養学	石橋 智奈美	講義	2	栄養士必修	1, 2, 3	1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	臨床分野における栄養マネジメント業務を遂行していく上で、疾病の成り立ちを理解することは不可欠です。近年の医療制度の変化は著しく、臨床分野の栄養業務は大きく変化しています。傷病者の病態や栄養状態に基づいた栄養管理を理解し、医療・介護制度や医療チームにおける栄養管理の役割を理解することが目的です。また、疾病の症状を改善させるために、病態の正確な理解と栄養状態の的確な評価を学習します。臨床栄養学実習の基礎となる知識も学習します。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 臨床栄養学の基礎となる知識を取得し、実習に応用できる力を身につける。</li> <li>2 栄養状態を把握し、適切な食事の提供・食事の摂り方を対象者に助言できる。</li> </ol>						
回	学習内容						
1	オリエンテーション、臨床栄養学の概念						
2	栄養食事療法と栄養補給法						
3	消化器疾患の病態生理と栄養食事療法						
4	糖尿病の病態生理 糖尿病の病因、合併症						
5	糖尿病の治療の意義と栄養食事療法						
6	脂質代謝異常症、肥満症の病態生理						
7	脂質代謝異常症、肥満症の栄養食事療法						
8	肝臓、胆嚢、膵臓疾患の病態生理と栄養食事療法 小テスト						
9	循環器疾患(高血圧・動脈硬化など)の病態生理と栄養食事療法						
10	腎臓疾患(腎不全・慢性腎臓病・ネフローゼ症候群・透析)の病態生理						
11	腎臓疾患の栄養食事療法						
12	筋・骨格系疾患の病態生理と食事療法						
13	免疫・アレルギー疾患の概要と栄養食事療法						
14	摂食機能低下の概要と栄養食事療法						
15	試験及び試験終了後に、臨床栄養学のまとめと総評						
予習内容 復習内容	予習：教科書の各回の学習内容に相当する範囲に目を通す等。 復習：講義内容を整理し、臨床栄養学実習への理解を深める。						
教科書	友竹浩之・塚原丘美編「臨床栄養学概論」講談社						
成績評価	出席時に提出するレポート(15%)、小テスト(30%)、筆記試験(55%)により評価します。 全授業回数数の3分の2以上の出席がない場合、評価の対象外とします。						
実務経験	医療法人に勤務し、入院時食事療養、入院患者の栄養管理業務に従事しています。実務経験を活かし、病態毎の栄養管理に必要な専門知識を習得できるように努めます。						
その他 特記事項	病気の成り立ちと栄養食事療法などについて解説しますが、講義時間内では、すべては網羅できないため、予習・復習が必須です。						